

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	職員一人一人が担当を持っており、居室環境整備、毎月のケア報告書の記入など関わりを行っているが、本人の思いや家族の希望を把握し、職員個々の「気付き」の情報共有に乏しい。	本人・家族とのかかわりを持ち、職員がその「思い」や「気付き」を共有し、介護計画書に活かしながら個別ケアの実践に繋げる。	・家族会や運営推進会議などへ職員も参加し、御家族との関わる機会を持つ。 ・日常の何気ないくさや言葉などを「経過記録」に記入し、スタッフ間の情報共有を図る。さらに、それを基にアセスメントを行い、介護計画書の作成に活かしケアを行う。	12ヶ月
2	15 16	スタッフは個別目標を立て年間計画に沿った所内研修を実施している。また、実習の受け入れや近隣の事業所への訪問は管理者が行っている。今後は、個々のスキルアップを図る為外部研修や他事業との交流をスタッフに促す必要がある。	OJTの充実と外部研修への参加の機会を増やし、職員のスキルアップを目指す。	・日頃より、職員の意向や希望を確認し研修計画や日ごろの業務に反映させる。 ・管理者・中堅・新人などキャリアに応じた外部研修等に参加し、専門知識の習得を図る。	12ヶ月
3	37	年2回、非常災害訓練を行い地域との協力体制を築いている。実際に災害が発生した際にどのように連絡体制をとるのか、何を依頼するのかなど具体的な計画や災害訓練を実施することが、今後の課題である。	地域とグループホームとの相互の連携が図れるよう非常災害訓練を企画・実施する。	・非常災害訓練の計画書を作成し、具体的依頼内容を検討する。 ・運営推進会議にて「非常災害訓練」への参加を依頼し、地域と協働した訓練を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。